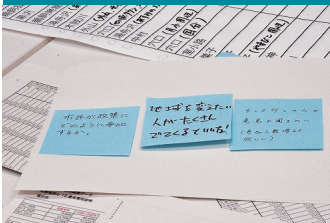




6

政策支援部門計画



次代を担う人材の育成と、
 持続可能な行財政経営を進める部門
 (p246)

政策	基本施策	施策
<p>6-1 市民の信頼と負託に こたえる行政体制の 構築(p248)</p> <p>6-2 総合計画の推進と 未来の価値の創造 (p254)</p> <p>6-3 行政運営を支える 情報システム基盤の 確保(p262)</p> <p>6-4 次代につなげる 財務基盤の確立 (p266)</p> <p>6-5 市政経営を支える 効率的で安定した課税 体制の実現(p272)</p> <p>6-6 納税しやすい 環境の整備と確実な 税財源の確保(p278)</p> <p>6-7 市民に信頼される 会計事務の実現 (p284)</p>	<p>6-1-1 住民自治を支える職員の育 成と適切な人事管理(p250)</p> <p>6-1-2 規律ある行政運営の確保 (p252)</p>	<p>6-2-1 総合計画を軸とした マネジメントの推進(p256)</p> <p>6-2-2 未来に向けた 滝沢の価値の創造(p258)</p> <p>6-2-3 価値の創造に向けた情報の 発信と活用(p260)</p>
	<p>6-3-1 行政情報システム基盤の 円滑な運用(p264)</p>	<p>6-4-1 住民自治を支える 財務体質の確立(p268)</p> <p>6-4-2 公共施設等財産管理の推進 (p270)</p>
	<p>6-5-1 住民税・諸税の適正課税と 電子化推進(p274)</p> <p>6-5-2 固定資産税の適正課税と 電子化推進(p276)</p>	<p>6-6-1 安定した歳入の確保(p280)</p> <p>6-6-2 税の公平性と信頼の担保 (p282)</p>
	<p>6-7-1 適切な会計処理と 確実な資金の運用(p286)</p>	

政策

基本施策

施策

6 政策支援部門

総合計画基本構想に掲げるまちづくりの「視点」との関係

- 特にこの部門に関連する視点：**集う** **支え合う**

※この部門は、経営資源の管理や配分を通じ、他の5部門を支える部門となります。

そのため、「目指す4年後のまち」ではなく、「目指す4年後の(部門の)姿」としてビジョンを設定しています。

(1) この部門の目指す4年後の姿

Vision

次代を担う人材の育成と、 持続可能な行財政経営を進める部門

【設定理由】

次代への多様な環境変化の中にあっても、持続可能な行政経営を支えるため、滝沢の価値と未来を創造する人材の育成と、課題解決に向けた組織力の強化により、経営資源の確保と資源配分の最適化を進められる部門を目指します。

(2) この部門が4年間で取り組むこと

Mission

経営資源の確保と最適化

【設定理由】

行財政経営を持続可能なものとするため、経営資源である、「ヒト・モノ・カネ・情報」などを確保・活用し、セーフティネットや幸福感に強く関連する事業等に重点的な配分を行います。



(3) 政策の進捗に関連する指標

① 暮らしやすさ指標

滝沢市の行政サービスは良いと感じている人の割合



【設定理由】

セーフティネットや幸福感を育む取り組みの支援を含めた「行政サービス」へ経営資源を投入し、その効果を測定する必要があることから「滝沢市のサービスは良いと感じている人の割合」を指標としました。

② 《参考》関係する「幸福実感象徴指標」

滝沢市に愛着がある人の割合



【設定理由】

市に愛着を持てることは、当市に住み続ける一つの要素であり、各地域・各世代の地域への愛着が、幸福感と社会関係資本の構築に重要な要素と考えられることから、「滝沢市に愛着がある人の割合」を指標としました。



(4) 部門における環境分析

【外部環境分析】

持続可能な行政経営という観点から、特に若い世代や子育て世代への多様な雇用環境の創出と、住環境の提供などを通じて当市の魅力を高める必要があります。その中で、例えば住宅都市機能など、盛岡広域都市圏で担うべき役割を認識した、広い視点からの経営資源の配分の最適化が必要です。

【内部環境分析】

「柔軟な発想力」など、当市の強みを伸ばすような人材育成を通じて、扶助費の増高と施設の老朽化等による財政の圧迫に対応していく必要があります。また、最適な資源投資による持続可能な財源の確保と、増え続ける課題に対応できるような組織の強化が必要です。

政策

基本施策

施策

政策支援部門

6-1

市民の信頼と負託にこたえる行政体制の構築

この基本施策の所管：企画総務部総務課

総合計画基本構想に掲げる最適化条件との関係

- 特にこの基本施策に関連する最適化条件：市役所の仕事は信頼できる

(1) この基本施策の目指す4年後の姿

Vision

市民の信頼と負託にこたえる行政体制の構築

【設定理由】

多様化する市民の価値観に的確に対応し、市民に信頼される行政サービスを提供する体制づくりを推進することが大切です。そのため滝沢市自治基本条例等の上位方針に沿って、地域づくりの推進を担う能力を有する職員の人材育成及び職員的能力を引き出す人事管理を行います。また、行政運営の透明性の向上を図り、行政に関する情報を積極的に提供することはもちろんのこと、コンプライアンスの徹底に取り組むことにより、規律ある行政運営の確保に努めます。

(2) この基本施策が4年間で主に取り組むこと

Mission

職員的能力を高め、様々な課題に対応できる組織をつくります

【設定理由】

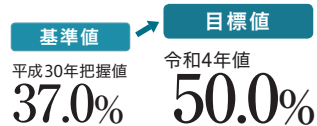
組織として様々な課題に対応できる体制を構築するため、市民と対話し、使命感を持ってチャレンジする職員及び自身のキャリアプランを描ける職員を育成し、経営資源としての「ヒト」を適正に配置して活用します。



(3) 基本施策に関連する指標

① 暮らしやすさ指標

滝沢市の行政サービスは良いと感じている人の割合

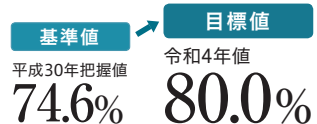


【設定理由】

市民との信頼関係を強めるには、職員個々の研さんやコンプライアンス意識の高さ、それらを包括した組織体制の構築が必要であり、その結果市民がどう感じているかを測定する必要があることから「滝沢市の行政サービスは良いと感じている人の割合」を指標としました。

② 《参考指標》関係する「幸福実感象徴指標」

滝沢市に愛着がある人の割合



【設定理由】

市に愛着を持てることの一つには、市が行う行政サービスに対する評価も一つの要素であることから、「滝沢市に愛着がある人の割合」を指標としました。



(4) この基本施策における環境分析

【外部環境分析】

大学や研究機関が立地する本市の強みを活かして様々な年代の様々な能力を持った人材を採用し、あらゆる課題に対応できる持続可能な行政体制を構築することが大切です。

【内部環境分析】

人事評価制度の導入、働き方改革の推進、女性の活躍推進及び職員の任用形態の多様化など制度が複雑に変化する中で、地域づくりを推進し、市民との信頼関係を構築できる職員及び次代を見据えて職員が能力を発揮できる組織の構築が必要です。

政策

基本施策

施策

6-1 市民の信頼と負託にこたえる行政体制の構築

6-1-1 住民自治を支える職員の育成と適切な人事管理

この施策の所管: 企画総務部総務課

総合計画基本構想に掲げる最適化条件との関係

- 特にこの施策に関連する最適化条件: 市役所の仕事は信頼できる

(1) この施策が4年間で主に取り組むこと

この施策では、基本施策の目指す姿を実現するため、主に以下のことについて取り組みます。

- ◆ 人材育成基本方針の周知と活用
- ◆ 人事制度の見直し
- ◆ 職員定員の適正化
- ◆ 人事評価結果に基づく人事管理
- ◆ 働き方改革の推進



(2) この施策に関連する指標

① 暮らしやすさ指標

職員の研修参加者数

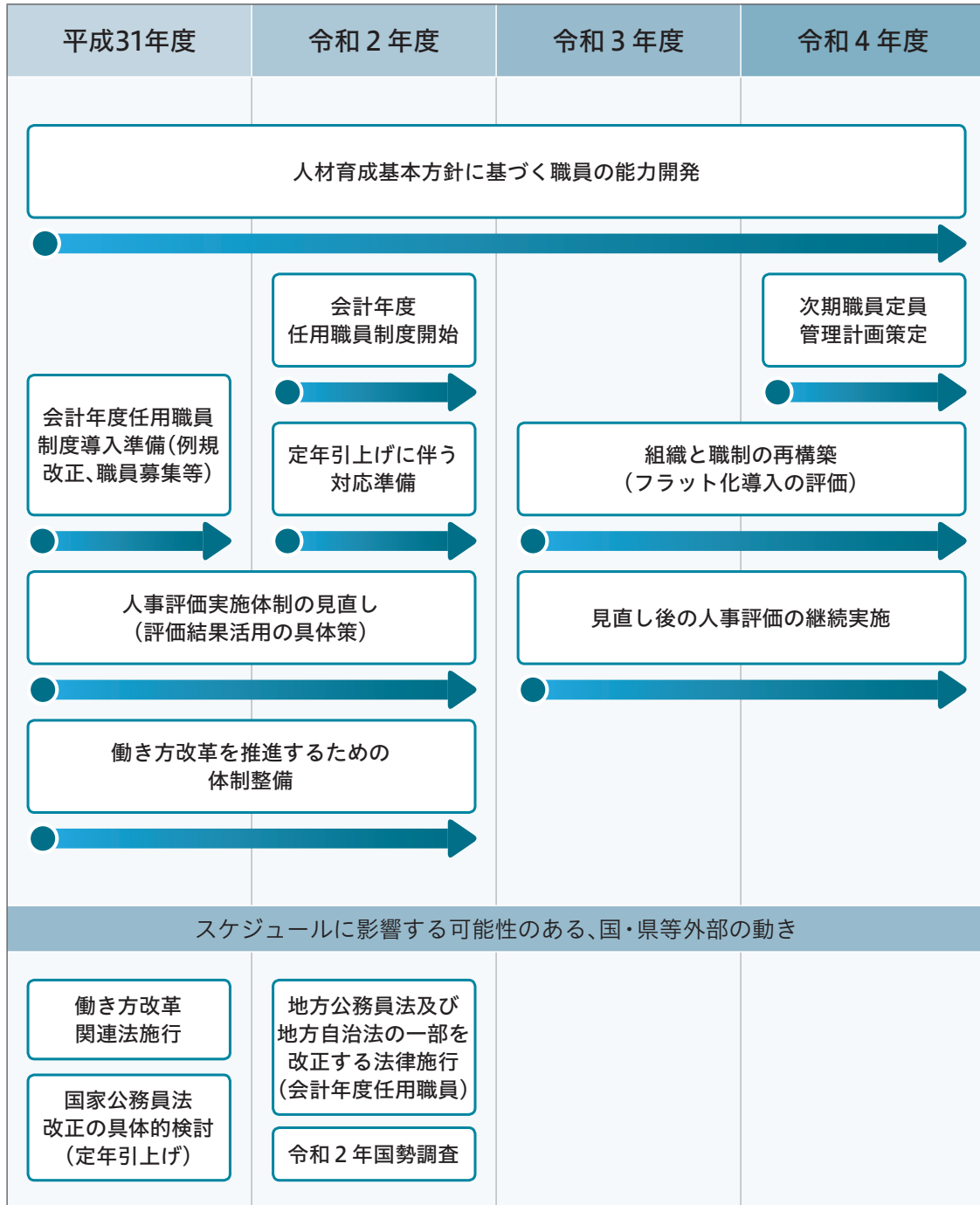


【設定理由】

職員一人一人がキャリアプランを描けるような人材育成と適材適所の人事配置を行うため、職員の能力向上に取り組む必要があることから、計画的な職員研修と能力開発の状況を把握するため「職員の研修参加者数」を指標としました。

(3)この施策の4年間のスケジュール

この施策で4年間取り組む主なスケジュールは以下のとおりです。



政策

基本施策

施策

6-1 市民の信頼と負託にこたえる行政体制の構築

6-1-2 規律ある行政運営の確保

この施策の所管: **企画総務部総務課**

総合計画基本構想に掲げる最適化条件との関係

- 特にこの施策に関連する最適化条件: **市役所の仕事は信頼できる**

(1) この施策が4年間で主に取り組むこと

この施策では、基本施策の目指す姿を実現するため、主に以下のことについて取り組みます。

- ◆ 行政情報公開と個人情報保護の適正な運営
- ◆ 行政手続制度の運用体制の再構築
- ◆ 公文書の適切な管理
- ◆ コンプライアンスを実践する行動の促進
- ◆ マイナンバー制度に関する総合調整



(2) この施策に関連する指標

① 暮らしやすさ指標

滝沢市の行政サービスは良いと感じている人の割合



【設定理由】

市民の信託に基づく行政運営を進めるため、職員は常に高いコンプライアンス意識を持って行動する必要があり、その基盤となるのは、法令に基づく行政手続を遂行することにあります。この積み重ねが市民からの信頼を得ることにつながるため、「滝沢市の行政サービスは良いと感じている人の割合」を指標としました。

(3)この施策の4年間のスケジュール

この施策で4年間取り組む主なスケジュールは以下のとおりです。

平成31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> 行政情報公開条例の見直し 個人情報保護条例の見直し </div>			
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> 行政手続法及び行政手続条例の 対象事務の整理と再確認 </div>		<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> 行政手続の運用体制の確立 </div>	
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> 法制執務研修の充実強化 </div>			
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> 職員の法務能力の向上 </div>			
スケジュールに影響する可能性のある、国・県等外部の動き			

政策

基本施策

施策

政策支援部門

6-2

総合計画の推進と未来の価値の創造

この基本施策の所管：企画総務部企画政策課

総合計画基本構想に掲げる最適化条件との関係

- 特にこの基本施策に関連する最適化条件：市役所の仕事は信頼できる

(1) この基本施策の目指す4年後の姿

Vision

総合計画の推進と未来の価値の創造

【設定理由】

4年後における滝沢市全体の目標は総合計画の達成であり、当基本施策ではそれに向けた総合計画の全体進捗の的確な管理を行います。
また、さらにその先を見据え、多様化が進む中での未来における滝沢市の価値づくりを進めます。

(2) この基本施策が4年間で主に取り組むこと

Mission

内部マネジメントの的確な推進と人とのつながりを創り、未来へ繋がる事業創出へ挑戦します

【設定理由】

ビジョンの実現に向け、第1次滝沢市総合計画を達成するための内部マネジメントの推進と、市民の動機付けに繋がるような総合計画の周知を図ります。
また、価値観やライフスタイルの多様化が進む中で未来を見据え、人とのつながりづくりを進めるとともに、未来に繋がる事業等の創出を図ります。



(3) 基本施策に関連する指標

① 暮らしやすさ指標

総合計画を知っている人の割合

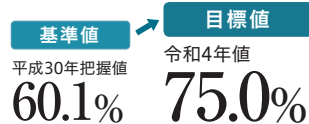


【設定理由】

第1次滝沢市総合計画後期基本計画を推進するためには、内部のマネジメントの円滑化と、市民の動機付けが必要であり、動機付けの第一歩としてまずは総合計画を知ってもらうことが重要であることからこの指標としました。

② 《参考指標》関係する「幸福実感象徴指標」

滝沢市で幸せに暮らしている人の割合



【設定理由】

第1次滝沢市総合計画後期基本計画を推進することが総合計画の目標である「幸福感を育む環境づくり」を達成すること、また人の繋がりを創ること、未来へ繋がる事業を創出することが市民の幸せにそれぞれ繋がると考え、この指標としました。



(4) この基本施策における環境分析

【外部環境分析】

高度経済成長期の社会、経済システムの崩壊、経済を中心としたグローバル化の進展、少子化、高齢化、人口減少社会、高度情報化により社会、経済システムの大きな変革期を迎えています。また、これらの変革を背景に、人々の価値観も多様化しており、それぞれがより良く生きることを重視してきています。国の考えも広域での連携も視野に入れた地方での課題の解決を求めています。

【内部環境分析】

地域社会アンケートや客観的な統計データなどにより、市民ニーズを10年以上把握しています。また、展開においては方針展開を実施し財政と連動させながら実施しており仕組みは整っています。一方で、厳しい財政と市民の多様化する価値観の中で市民との連携を更に進めることや若者が住みたいと思えるような未来を見据えた政策立案が課題となっています。

政策

基本施策

施策

6-2 総合計画の推進と未来の価値の創造

6-2-1 総合計画を軸としたマネジメントの推進

この施策の所管: 企画総務部企画政策課

総合計画基本構想に掲げる最適化条件との関係

- 特にこの施策に関連する最適化条件: **ずっと住みたいと思える市である**

(1) この施策が4年間で主に取り組むこと

この施策では、基本施策の目指す姿を実現するため、主に以下のことについて取り組みます。

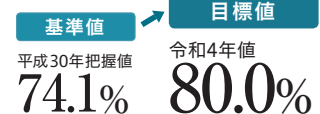
- ◆ 総合計画の確実な推進
- ◆ 第2次滝沢市総合計画の検討と策定
- ◆ トップマネジメントに基づく各政策、施策の確実な展開と評価
- ◆ 住み続け、選ばれる市となるための取組の推進
- ◆ 未来を見据え、社会の変化に柔軟に対応する行政改革の展開



(2) この施策に関連する指標

① 暮らしやすさ指標

滝沢市は住みやすい市だと感じている人の割合

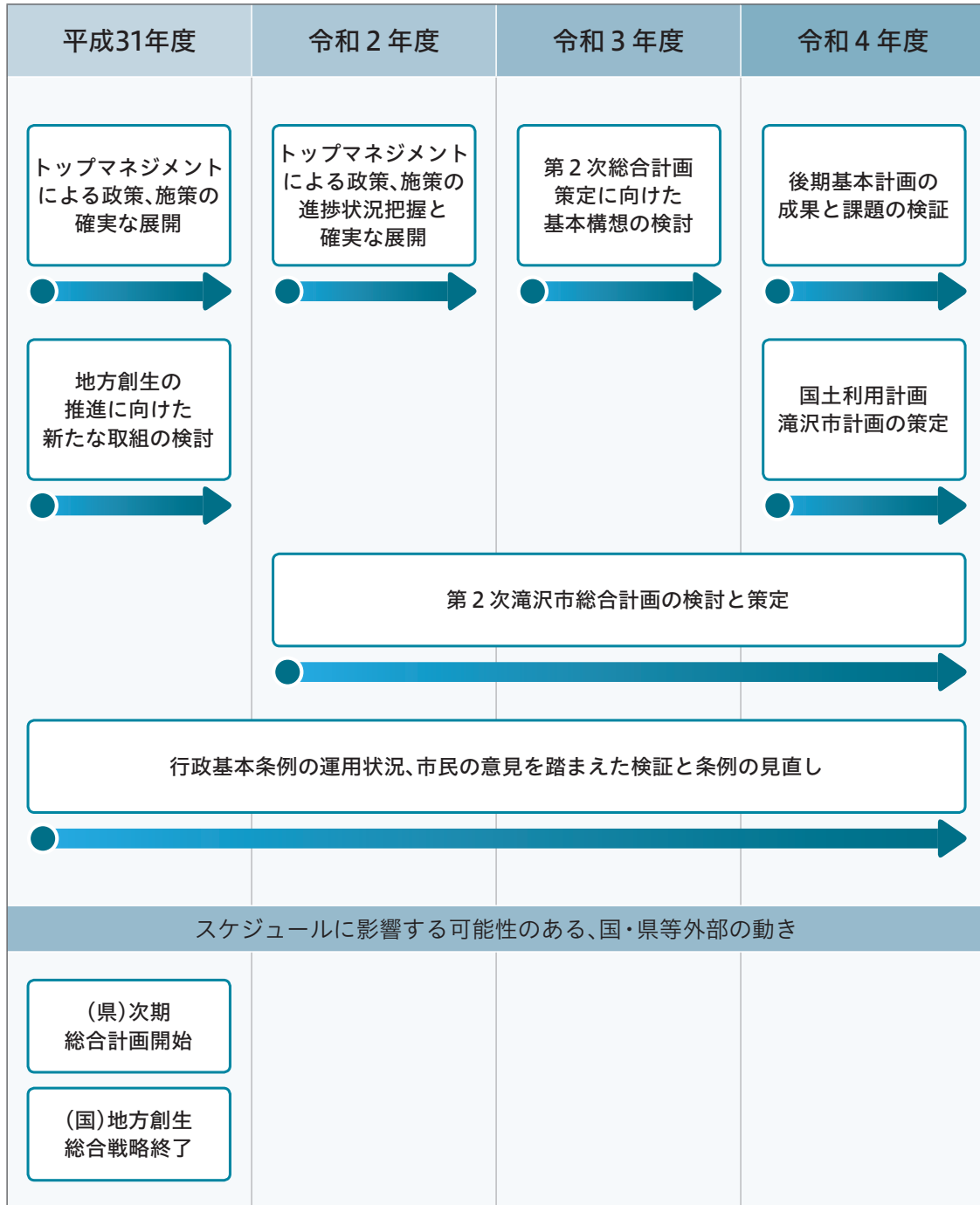


【設定理由】

市民の信頼と負託に基づくトップマネジメントによる行政運営を進めるためには、市長方針を踏まえた事務事業の確実な実施が必要であり、その結果が市民の幸福感、満足の向上につながることから、「滝沢市は住みやすい市だと感じている人の割合」を指標としました。

(3)この施策の4年間のスケジュール

この施策で4年間取り組む主なスケジュールは以下のとおりです。



政策

基本施策

施策

6-2 総合計画の推進と未来の価値の創造

6-2-2 未来に向けた滝沢の価値の創造

この施策の所管: 企画総務部企画政策課

総合計画基本構想に掲げる最適化条件との関係

- 特にこの施策に関連する最適化条件: **ずっと住みたいと思える市である**

(1) この施策が4年間で主に取り組むこと

この施策では、基本施策の目指す姿を実現するため、主に以下のことについて取り組みます。

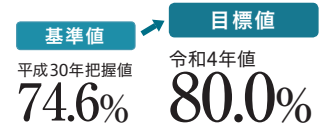
- ◆ 共創（公民連携）の手法の構築と組織の検討
- ◆ 共創（公民連携）の担い手となる職員及び地域人材の育成
- ◆ “地域への愛着”の醸成につながる取組の検討と推進
- ◆ 大学等教育機関とのさらなる連携の推進
- ◆ 民間企業等との連携協定に基づく取組の推進
- ◆ 盛岡広域連携中枢都市圏の形成に係る連携協約に基づく取組の推進



(2) この施策に関連する指標

① 暮らしやすさ指標

滝沢市に愛着がある人の割合



【設定理由】

恵まれた地理的環境と、大学が複数立地するという利点を最大限生かし、様々なセクターとの連携を強化し推進することで、多様な「人」が集い、価値が産み出され、躍動する「まち」をつくることが市民の愛着につながると考え、「滝沢市に愛着がある人の割合」を指標としました。

(3)この施策の4年間のスケジュール

この施策で4年間取り組む主なスケジュールは以下のとおりです。

平成31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> 公民連携に向けた手法と組織の検討 </div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> 公民連携の専門部署(窓口)の設置 </div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> 連携事業の展開による経営資源の確保 (ヒト・モノ・カネ) </div>	
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> 大学との連携のあり方検討 </div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> 民間企業等 多様な連携に向けた職員派遣 </div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> 連携事業の展開による地域価値の向上 (ヒト・コト・ココロ) </div>	
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> 市民ニーズを踏まえた 連携手法、連携事業の評価と検証 </div>			
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> タキザワコレカラカイギ等、公民連携及び人材育成の場の活用と運営 </div>			
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> みちのく盛岡広域連携都市圏ビジョンに基づく取組の推進と見直し </div>			
スケジュールに影響する可能性のある、国・県等外部の動き			
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> 地方創生総合戦略 (国)の終了年度 </div>			

政策

基本施策

施策

6-2 総合計画の推進と未来の価値の創造

6-2-3 価値の共創に向けた情報の発信と活用

この施策の所管: 企画総務部企画政策課

総合計画基本構想に掲げる最適化条件との関係

- 特にこの施策に関連する最適化条件: 必要な時に欲しい情報が得られる

(1) この施策が4年間で主に取り組むこと

この施策では、基本施策の目指す姿を実現するため、主に以下のことについて取り組みます。

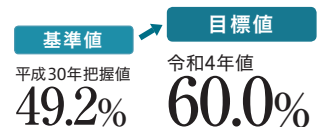
- ◆ 広報紙、ホームページ、各種懇談会等を通じた市政の発信
- ◆ 市民との対話の場づくりの推進
- ◆ SNS を活用したリアルタイムでの情報発信、情報共有
- ◆ 各種統計情報の収集と戦略的活用



(2) この施策に関連する指標

① 暮らしやすさ指標

普段の生活に必要な情報が伝わっていると感
じている人の割合



【設定理由】

総合計画の推進にあたっては、行政からの一方的な情報発信だけでなく、市民が何を考え、何を求めているのかを把握することが重要であることから、「普段の生活に必要な情報が伝わっていると感じている人の割合」を指標としました。

(3)この施策の4年間のスケジュール

この施策で4年間取り組む主なスケジュールは以下のとおりです。

平成31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
<p>総合計画を軸とした各種政策、事業等の各種媒体を通じた発信</p>	<p>市民との対話の場を活用した市民ニーズの把握、地域情報の収集</p>	<p>国勢調査の結果に基づく市の現状分析と将来のあるべき姿の検討</p>	<p>国勢調査データの戦略的活用と第2次総合計画への反映</p>
<p>新たな市民との対話の場の検討</p>	<p>SNSを活用した情報発信、情報共有</p>		
<p>市民との対話の場の一つとしてのタキザワコレカラカイギの活用</p>			
<p>スケジュールに影響する可能性のある、国・県等外部の動き</p>			
	<p>国勢調査</p>		

政策

基本施策

施策

政策支援部門

6-3

行政経営を支える情報システム基盤の確保

この基本施策の所管: 企画総務部情報システム課

総合計画基本構想に掲げる最適化条件との関係

- 特にこの基本施策に関連する最適化条件: 市役所の仕事は信頼できる

(1) この基本施策の目指す4年後の姿

Vision

行政経営を支える情報システム基盤の確保

【設定理由】

国のIT戦略や住民ニーズの多様化、急速なICT技術の進展などによる環境変化にも柔軟に対応しながら、持続的な行政経営を支える安定した情報システム基盤の確保を目指します。

(2) この基本施策が4年間で主に取り組むこと

Mission

行政情報システム基盤の安定運用と最適化の推進

【設定理由】

行政経営を持続可能なものとするため、安心・安全で効率的な行政サービスが提供できるよう、情報システム基盤の安定運用に努めます。また、財政基盤の安定化に資するため、経営資源である行政情報システムの最適化を推進します。



(3) 基本施策に関連する指標

① 暮らしやすさ指標

滝沢市の行政サービスは良いと感じている人の割合

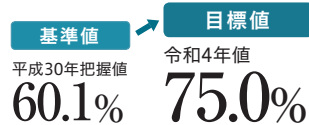


【設定理由】

行政経営を支える情報システム基盤の安定運用は、より良い行政サービスの安心・安全で迅速な提供に繋がることから「滝沢市の行政サービスは良いと感じている人の割合」を指標としました。

② 《参考指標》関係する「幸福実感象徴指標」

滝沢市で幸せに暮らしている人の割合



【設定理由】

滝沢市の行政サービスは良いと感じることは、当市に住み続ける一つの要因であり、市民の幸福感にも繋がることから「滝沢市で幸せに暮らしている人の割合」を指標としました。



(4) この基本施策における環境分析

【外部環境分析】

ICT技術の急速な進展や住民のライフスタイルの多様化により、時代の変化に即した住民サービスの提供が必要となってきています。その一方で、個人情報保護への社会的関心の高まりや外部からのセキュリティ脅威の高度化・複雑化などにより、行政情報を保護する重要性はより一層高くなっています。

【内部環境分析】

行財政経営を持続可能なものとするため、情報システムを活用した行政サービスの向上や事務効率化のための基盤づくりを進めるとともに、行政情報システムの最適化を引き続き推進していく必要があります。また、最適化活動の定着やセキュリティリスクの低減を図る上で、技術的専門スキルを持った人材の育成と組織力の向上が必要です。

政策

基本施策

施策

6-3 行政経営を支える情報システム基盤の確保

6-3-1 行政情報システム基盤の円滑な運用

この施策の所管: 企画総務部情報システム課

総合計画基本構想に掲げる最適化条件との関係

- 特にこの施策に関連する最適化条件: 市役所の仕事は信頼できる

(1) この施策が4年間で主に取り組むこと

この施策では、基本施策の目指す姿を実現するため、主に以下のことについて取り組みます。

- ◆ 行政情報システム基盤（ネットワーク環境、仮想環境、端末環境、データ連携環境等）の適正管理と円滑な運用
- ◆ 情報セキュリティ運用の見直しと安全確保
- ◆ 住民情報システムの円滑な更新
- ◆ 情報システム最適化の推進と新たなIT技術や外部資源活用の研究
- ◆ 専門的人材の育成



(2) この施策に関連する指標

① 暮らしやすさ指標

システム安定稼働率









【設定理由】

行政サービスを支える情報システムは重要な基盤の一つとなっています。行政情報システムの円滑な運用により、市民の大切な情報を安全に管理するとともに、効率的な行政サービスを提供できる環境を整えることは、市役所の仕事の信頼性や滝沢市の行政サービスは良いと感じることに繋がることから、「システム安定稼働率」を指標としました。

(3)この施策の4年間のスケジュール

この施策で4年間取り組む主なスケジュールは以下のとおりです。

平成31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">端末環境の更新</div> 	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">仮想基盤環境の更新</div> 	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">グループウェア更新</div> 	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">セキュリティシステム更新</div> 
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">データ連携環境の再構築</div> 	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">住民情報システム更新調査</div> 	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">住民情報システム更新検討</div> 	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">住民情報システム更新</div> 
スケジュールに影響する可能性のある、国・県等外部の動き			

政策

基本施策

施策

政策支援部門

6-4 次代につなげる財務基盤の確立

この基本施策の所管: **企画総務部財務課**

総合計画基本構想に掲げる最適化条件との関係

- 特にこの基本施策に関連する最適化条件: **市役所の仕事は信頼できる**

(1) この基本施策の目指す4年後の姿

Vision

次代につなげる財務基盤の確立

【設定理由】

財政状況が逼迫する中、自らの自治能力の範囲内で効率的な行政サービスを展開していますが、将来にわたり継続し安定した行政サービスの提供のため、保有資産のマネジメントを含めた財務基盤を強固にする必要があります。

(2) この基本施策が4年間で主に取り組むこと

Mission

財政構造改革の推進

【設定理由】

歳入拡大、適正な受益者負担、財産の管理と活用などの財政構造改革の取り組みが、財務体質を変革させることになり、次代につなげる財務基盤の確立につながります。



(3) 基本施策に関連する指標

① 暮らしやすさ指標

滝沢市の行政サービスは良いと感じている人の割合

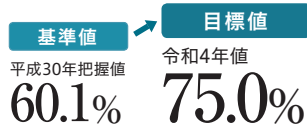


【設定理由】

財務基盤の確立は、より良い行政サービスを提供するための礎であり、すべての事務事業に結びつきがあることから「滝沢市の行政サービスは良いと感じている人の割合」を指標としました。

② 《参考指標》関係する「幸福実感象徴指標」

滝沢市で幸せに暮らしている人の割合



【設定理由】

財務基盤を確固とすることは、行政サービス全体の向上に寄与し、市民の幸福感へつながっていくものと考え、「滝沢市で幸せに暮らしている人の割合」を指標としました。



(4) この基本施策における環境分析

【外部環境分析】

国の財政状況は、人口高齢化を起因とする社会保障関係経費や赤字国債等の公債費が増加し続けています。このような中、地方公共団体においては、平成31年10月からの消費税の引き上げ、地方法人課税の偏在是正、ふるさと納税の取り組み等により財源確保の道筋も示されています。

【内部環境分析】

人口増の鈍化、公共施設等の老朽化対策、少子高齢化の進展等による扶助費の増加や様々な行政需要の増加に伴い、盛岡広域内で行政サービスのレベルを合わせることで事業の選択と集中、及び、自主財源の確保が求められています。

政策

基本施策

施策

6-4 次代につなげる財務基盤の確立

6-4-1 住民自治を支える財務体質の確立

この施策の所管: 企画総務部財務課

総合計画基本構想に掲げる最適化条件との関係

- 特にこの施策に関連する最適化条件: **ずっと住みたいと思える市である** 市役所の仕事は信頼できる

(1) この施策が4年間で主に取り組むこと

この施策では、基本施策の目指す姿を実現するため、主に以下のことについて取り組みます。

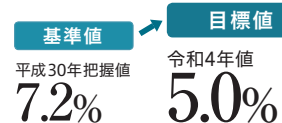
- ◆ 新たな歳入拡大の取組の実行
- ◆ 財源確保に向けた新しい財政プランの策定
- ◆ 財政計画・起債計画の第2次計画に向けた見直し



(2) この施策に関連する指標

① 暮らしやすさ指標

実質赤字比率等の財務諸指標

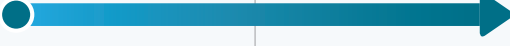




【設定理由】

健全財政の範囲を保ちながら、限られた財源が適切に配分され暮らしやすさに結びついていくことが重要であるため、「実質赤字比率等の財務諸指標」を指標としました。

(3)この施策の4年間のスケジュール

この施策で4年間取り組む主なスケジュールは以下のとおりです。

平成31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> 新たな歳入拡大の取組の実行 </div> 		<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> 財源確保に向けた 新しい財政プランの 策定 </div> 	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> 財政計画・ 起債計画の第2次 計画に向けた見直し </div> 
スケジュールに影響する可能性のある、国・県等外部の動き			

政策

基本施策

施策

6-4 次代につなげる財務基盤の確立

6-4-2 公共施設等財産管理の推進

この施策の所管: 企画総務部財務課

総合計画基本構想に掲げる最適化条件との関係

- 特にこの施策に関連する最適化条件: **ずっと住みたいと思える市である**

(1) この施策が4年間で主に取り組むこと

この施策では、基本施策の目指す姿を実現するため、主に以下のことについて取り組みます。

- ◆ 公共施設等総合管理計画の推進
- ◆ 公共施設等の個別施設計画の策定及び実施
- ◆ 公用車の適正な配置及び管理の継続



(2) この施策に関連する指標

① 暮らしやすさ指標

滝沢市は住みやすい市だと感じている人の割合

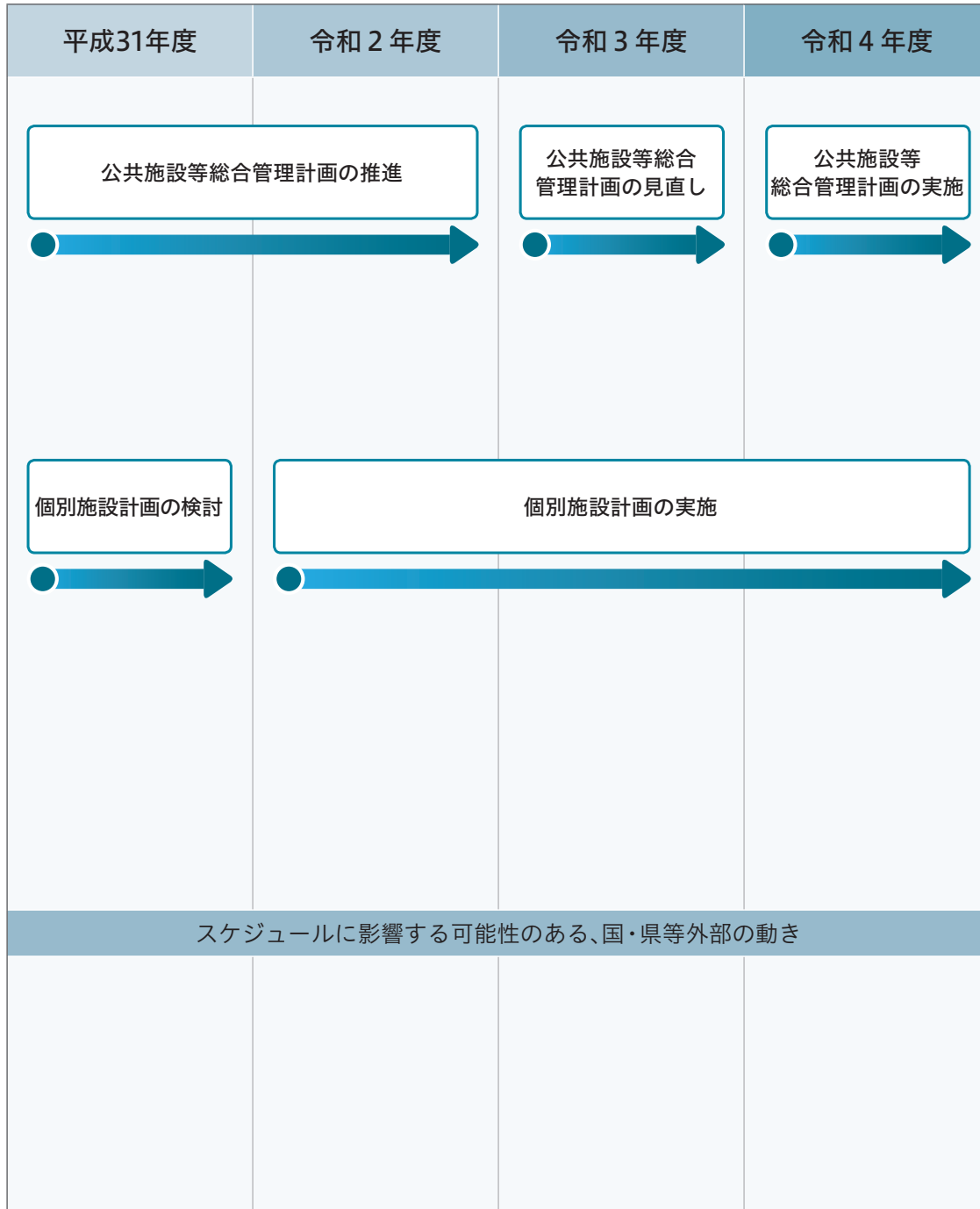


【設定理由】

公共施設等の公有財産管理及び活用の基盤を整え、規模を縮小しながら充実を図り、全体的なコストの見直しを推進します。コストの見直しは財政負担の軽減につながることから「滝沢市は住みやすい市だと感じている人の割合」を指標としました。

(3)この施策の4年間のスケジュール

この施策で4年間取り組む主なスケジュールは以下のとおりです。



政策

基本施策

施策

政策支援部門

6-5

市政経営を支える効率的で安定した課税体制の実現

この基本施策の所管：企画総務部税務課

総合計画基本構想に掲げる最適化条件との関係

- 特にこの基本施策に関連する最適化条件：市役所の仕事は信頼できる

(1) この基本施策の目指す4年後の姿

Vision

市政経営を支える効率的で安定した課税体制の実現

【設定理由】

政策支援部門を担う企画総務部内において、税務課が負う役割は、安定した自主財源の確保です。少子高齢化が進み税収の伸びは期待しづらい社会情勢の中、効率的で公正・適正な課税体制を進展させ、市民からの信頼性が確保された行財政基盤の確立を目指します。

(2) この基本施策が4年間で主に取り組むこと

Mission

安定した課税体制の進展のため、更なる電子化の研究と推進を図る

【設定理由】

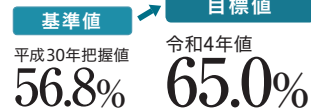
番号制度の施行以降、税分野に関する電子化の方向性は、広域共同利用を進める「クラウド化」や、国・県・市町村間の情報連携の急速な進展など、大きな変革期を迎えています。この流れの中、限られた財源と人員体制を有効に活用し、電子化の研究を深め推進していきます。



(3) 基本施策に関連する指標

① 暮らしやすさ指標

電子申告等の利用率

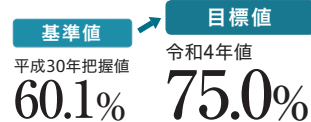


【設定理由】

電子申告は個人においては在宅手続きの普及による利便性の向上、法人等については手続きの簡素効率化につながり、利用率の向上は電子申告手続き体制の安全性の確立と比例することから、総じて「暮らしやすさ」につながるものと考え「電子申告等の利用率」を指標としました。

② 《参考指標》関係する「幸福実感象徴指標」

滝沢市で幸せに暮らしている人の割合



【設定理由】

効率的で安定した課税体制の進展は、市民の行政への信頼性を確保することにつながり、これによる行財政基盤の安定は、市民の幸せにつながるものと考え「滝沢市で幸せに暮らしている人の割合」を指標としました。



(4) この基本施策における環境分析

【外部環境分析】

平成31年10月の消費税引き上げ、2020年のオリンピック後の資本投資減少、少子高齢化の進展による生産年齢人口の減少など、税収の伸びは期待しづらい状況となっています。

【内部環境分析】

人口や地理的条件により中期に安定した個人税収の確保が見込める強みがあり、電子化による効率的な事務も着実に進められていますが、税制の複雑化・多様化により、限定的な人材資源の中で、マンパワーの質的向上と知識・経験の継承を確実にする組織とチェック体制の整備が必要となっています。

政策

基本施策

施策

6-5 市政経営を支える効率的で安定した課税体制の実現

6-5-1 住民税・諸税の適正課税と電子化推進

この施策の所管: 企画総務部税務課

総合計画基本構想に掲げる最適化条件との関係

- 特にこの施策に関連する最適化条件: 市役所の仕事は信頼できる

(1) この施策が4年間で主に取り組むこと

この施策では、基本施策の目指す姿を実現するため、主に以下のことについて取り組みます。

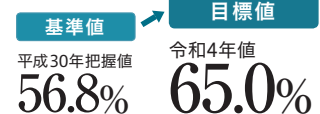
- ◆ 電子申告の啓発と事務電子化推進
- ◆ 番号制度の円滑な運用
- ◆ 税賦課徴収システムの更新と調整
- ◆ システムの広域的標準化の研究
- ◆ 専門研修とOJTによる適正化推進
- ◆ 職務専門組織制の展開と検証



(2) この施策に関連する指標

① 暮らしやすさ指標

電子申告等の利用率

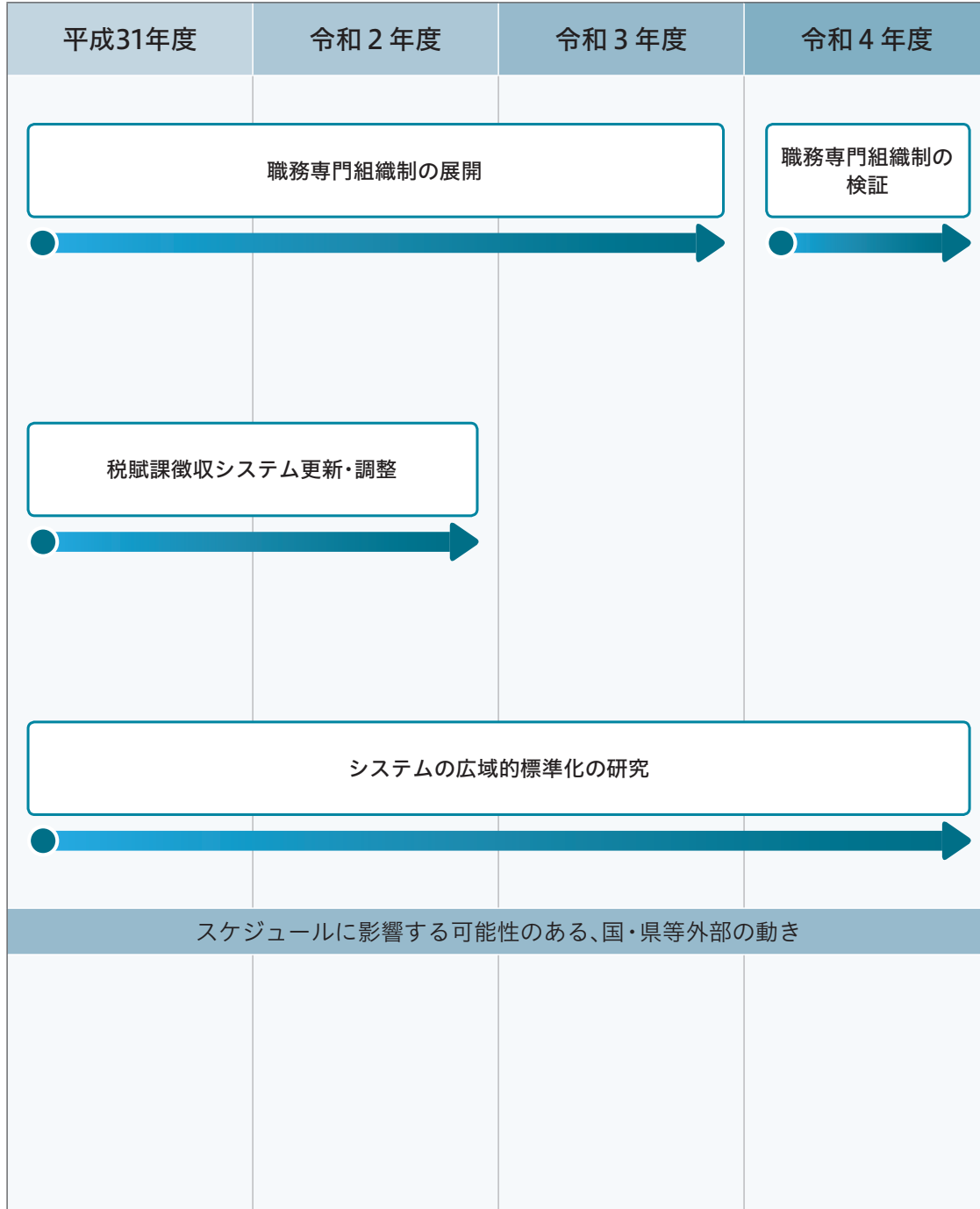


【設定理由】

在宅等で手続きができ、出向く必要のない電子による各種税申告等の利用が進展することは、市民の利便性が向上して「暮らしやすさ」につながるものと考え「電子申告等の利用率」を指標としました。

(3)この施策の4年間のスケジュール

この施策で4年間取り組む主なスケジュールは以下のとおりです。



政策

基本施策

施策

6-5 市政経営を支える効率的で安定した課税体制の実現

6-5-2 固定資産税の適正課税と電子化推進

この施策の所管: 企画総務部税務課

総合計画基本構想に掲げる最適化条件との関係

- 特にこの施策に関連する最適化条件: 市役所の仕事は信頼できる

(1) この施策が4年間で主に取り組むこと

この施策では、基本施策の目指す姿を実現するため、主に以下のことについて取り組みます。

- ◆ 電子申告の啓発と事務電子化推進
- ◆ 番号制度の円滑な運用と研究
- ◆ 税賦課徴収システムの更新と調整
- ◆ 専門研修とOJTによる適正化推進
- ◆ 現況調査による適正な評価課税の推進
- ◆ 職務専門組織制の展開と検証



(2) この施策に関連する指標

① 暮らしやすさ指標

固定資産評価審査委員会の容認決定件数

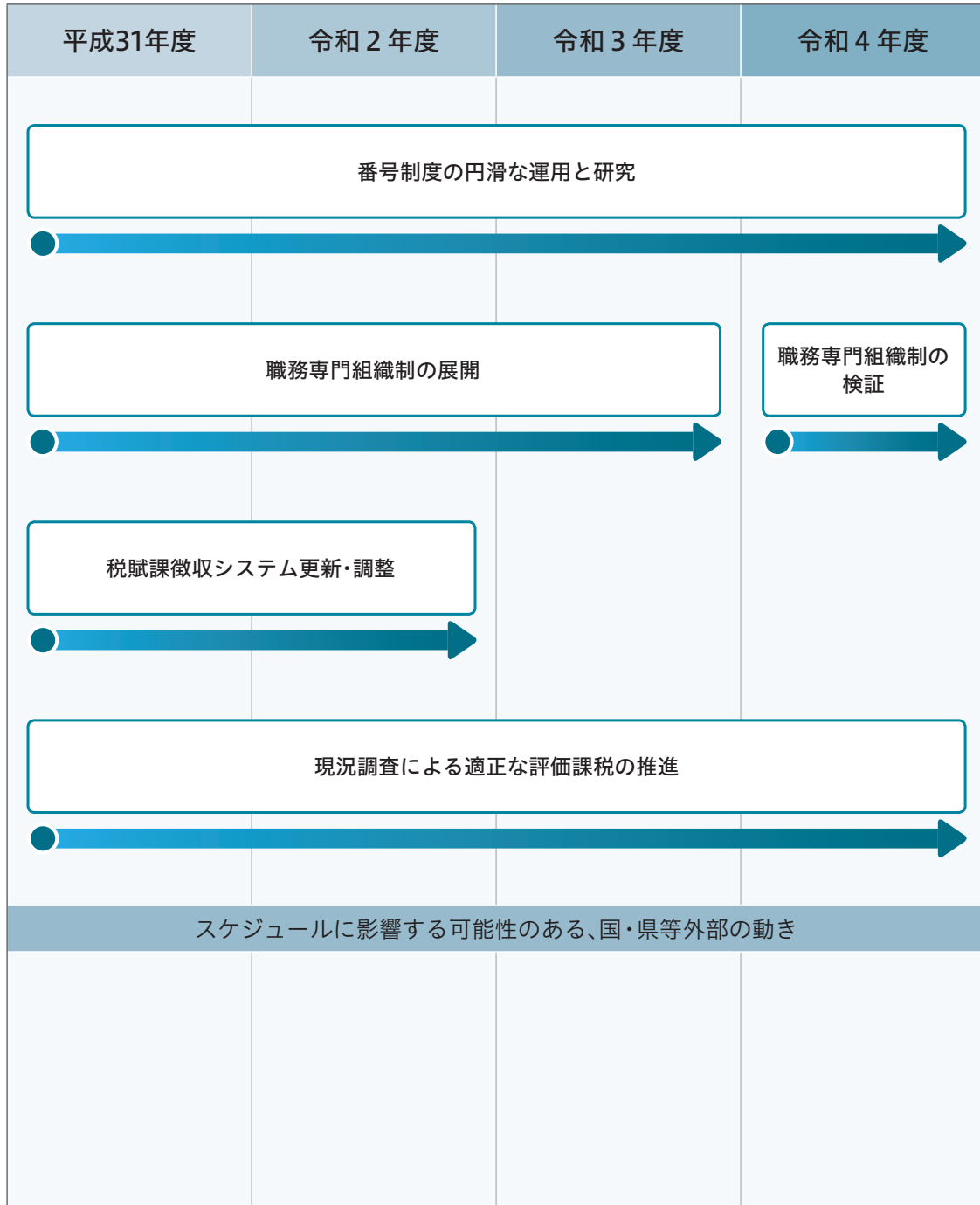
基準値	目標値
平成30年把握値	令和4年値
0件	0件

【設定理由】

固定資産の評価については、特に専門的知識と経験・知見が必要で、適正評価と課税を継続していくことは、市民からの信頼性を確保するもので、ひいては「暮らしやすさ」につながるものと考え「固定資産評価審査委員会の容認決定件数」を指標としました。

(3)この施策の4年間のスケジュール

この施策で4年間取り組む主なスケジュールは以下のとおりです。



政策

基本施策

施策

政策支援部門

6-6

納税しやすい環境の整備と確実な税財源の確保

この基本施策の所管：企画総務部収納課

総合計画基本構想に掲げる最適化条件との関係

- 特にこの基本施策に関連する最適化条件：市役所の仕事は信頼できる

(1) この基本施策の目指す4年後の姿

Vision

納税しやすい環境の整備と確実な税財源の確保

【設定理由】

市税は自主財源の根幹であると同時に、市民が地方行政に参画し協働していくための基本財源です。納税環境を整備することで市民が地方行政に参画しやすい環境を整備し、併せて税の持つ公平性の原則を担保する重要な要素である市税の徴収を適切に実行することで、市民の信頼を得る取り組みとします。

(2) この基本施策が4年間で主に取り組むこと

Mission

納税しやすい環境の整備・拡充と、滞納処分・整理の充実強化により収納率の維持と向上を目指します

【設定理由】

公平に賦課された市税を公平に徴収することが市役所の仕事の信頼に結びつき、ひいては市民のための財源確保につながります。そのために、いつでもどこでも納税できる環境を維持・拡張するとともに、市税の滞納においては救済措置も含めながら法に基づいた滞納整理を進めることとします。



(3) 基本施策に関連する指標

① 暮らしやすさ指標《前期計画時目標達成済》

一般税・目的税の収納率

	基準値 平成30年把握値	目標値 令和4年値
一般税	97.8%	97.8%
目的税	86.1%	86.1%

【設定理由】

自主財源である市税収納率の維持・向上は、市民との協働を実施するうえで必要不可欠であり、また、市政の行財政経営における基本的指標とすべきものであることから、「一般税・目的税の収納率」を指標とします。

② 《参考指標》 関係する「幸福実感象徴指標」

滝沢市で幸せに暮らしている人の割合

	基準値 平成30年把握値	目標値 令和4年値
	60.1%	75.0%

【設定理由】

安定した歳入の確保が安定した公共サービス等の事業実施につながり、これがもたらす安心感が幸福実感につながるものととらえ「滝沢市で幸せに暮らしている人の割合」を指標としました。



(4) この基本施策における環境分析

【外部環境分析】

日常生活においては ICT が一層浸透していくことが予想されるため、これに伴い納税環境の利便性向上に対するニーズもより高まることが考えられます。そのような環境の変化を見定めながら、納税環境に対するニーズには柔軟に対応する必要があります。

また、少子高齢化の進展に伴う生産年齢人口の減少により税収の減少が予想され、財源の確保が厳しくなっていくことが予想されます。これに対応するために、適正な滞納税の管理と整理を行うことが重視されます。

【内部環境分析】

厳しい財政状況から、一層の業務効率化とコストの削減が求められています。また、職員の経験や蓄積された業務知識の継承度が低下しつつあり、人材育成のための取り組みは不可欠となっています。

政策

基本施策

施策

6-6 納税しやすい環境の整備と確実な税財源の確保

6-6-1 安定した歳入の確保

この施策の所管: **企画総務部収納課**

総合計画基本構想に掲げる最適化条件との関係

- 特にこの施策に関連する最適化条件: **市役所の仕事は信頼できる**

(1) この施策が4年間で主に取り組むこと

この施策では、基本施策の目指す姿を実現するため、主に以下のことについて取り組みます。

- ◆ 業務基盤となるシステムの整備
- ◆ 口座振替の再振替の検討
- ◆ クレジット収納の拡張の検討
- ◆ 督促手数料等の見直しの検討



(2) この施策に関連する指標

- ① 暮らしやすさ指標《前期計画時目標達成済》

納期内納付の割合


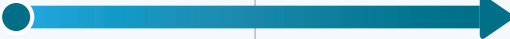




【設定理由】

納税者の税に対する信頼の確立を図るためには、市税を納期内納付してもらうことが重要であることから「納期内納付の割合」を指標としました。

(3)この施策の4年間のスケジュール

この施策で4年間取り組む主なスケジュールは以下のとおりです。

平成31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">業務基盤となるシステムの整備</div> 			
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">口座振替の再振替の検討</div> 			
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">クレジット収納の拡張の検討</div> 		
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">督促手数料等の見直しの検討</div> 			
スケジュールに影響する可能性のある、国・県等外部の動き			
<div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin: 10px auto; width: 80%;">国民健康保険標準システム広域化対応</div>			

政策

基本施策

施策

6-6 納税しやすい環境の整備と確実な税財源の確保

6-6-2 税の公平性と信頼の担保

この施策の所管: **企画総務部収納課**

総合計画基本構想に掲げる最適化条件との関係

- 特にこの施策に関連する最適化条件: **市役所の仕事は信頼できる**

(1) この施策が4年間で主に取り組むこと

この施策では、基本施策の目指す姿を実現するため、主に以下のことについて取り組みます。

◆ 滞納処分・整理の充実と強化



(2) この施策に関連する指標

- ① 暮らしやすさ指標《前期計画時目標達成済》

一般税・目的税の現年度収納率

	基準値	目標値
一般税	平成30年把握値 97.8%	令和4年値 97.8%
目的税	86.1%	86.1%

【設定理由】

自主財源である税の収納率の維持・向上が今後の行財政経営に必要不可欠であることから、「一般税・目的税の現年度収納率」としました。

(3)この施策の4年間のスケジュール

この施策で4年間取り組む主なスケジュールは以下のとおりです。

平成31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> 滞納処分・整理の充実と強化 </div> 			
スケジュールに影響する可能性のある、国・県等外部の動き			

政策

基本施策

施策

政策支援部門

6-7

市民に信頼される会計事務の実現

この基本施策の所管: **会計課**

総合計画基本構想に掲げる最適化条件との関係

- 特にこの基本施策に関連する最適化条件: **市役所の仕事は信頼できる**

(1) この基本施策の目指す4年後の姿

Vision

市民に信頼される会計事務の実現

【設定理由】

市民の皆様からお預かりしている公金の管理及び運用は、市民の信頼に直結するものです。公金管理に対する認識を全職員で共有し、会計事務の知識を高めることで、適正かつ迅速な予算執行をめざします。また、公金の安全で効率的な資金運用に努めます。

(2) この基本施策が4年間で主に取り組むこと

Mission

職員の公金管理に対する認識の共有と会計事務の知識の向上及び効率的な資金運用

【設定理由】

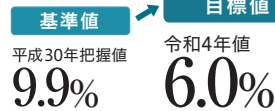
公金は市民の皆様からお預かりしているという認識をもち、予算を適正かつ迅速に執行し、安全で効率的な運用を行うことが、市民に信頼される会計事務の実現につながるものと考えます。



(3) 基本施策に関連する指標

① 暮らしやすさ指標

伝票返却率

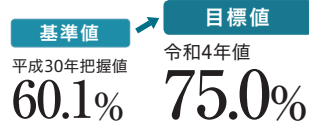


【設定理由】

担当課から提出される会計伝票の返却率を数値で捉え、この結果をもとに担当課・担当者への指導・助言を行い、会計事務の知識の向上をめざします。目標達成の度合いは、この率の減少により確認できることから、伝票返却率を指標としました。

② 《参考指標》関係する「幸福実感象徴指標」

滝沢市で幸せに暮らしている人の割合



【設定理由】

予算が適正に執行され、効率的な資金運用を行うことが、市民の信頼を生み、幸福実感につながるものと考え、滝沢市で幸せに暮らしている人の割合を指標としました。



(4) この基本施策における環境分析

【外部環境分析】

マイナス金利政策による金融機関の経営悪化、低金利時代、マネーの多様化など、社会経済情勢は、目まぐるしく変化しています。地方自治体は、少子高齢社会における社会保障制度の堅持、労働生産人口の減少等の影響により、財政状況が厳しくなっていますが、社会経済情勢の変化を見据えながら、さらなる経営努力が求められています。

【内部環境分析】

国からの補助金や交付金が減少し、財政調整基金の積立金額も少なくなるなど財政状況は厳しく、資金管理及び運用には、収支の均衡を的確に捉えることが重要となっています。また、大量退職・採用による職員の入れ替わりがあり、会計事務の継承に課題が生じています。

政策

基本施策

施策

6-7 市民に信頼される会計事務の実現

6-7-1 適切な会計処理と確実な資金の運用

この施策の所管: **会計課**

総合計画基本構想に掲げる最適化条件との関係

- 特にこの施策に関連する最適化条件: **市役所の仕事は信頼できる**

(1) この施策が4年間で主に取り組むこと

この施策では、基本施策の目指す姿を実現するため、主に以下のことについて取り組みます。

- ◆ 担当課から提出される会計伝票の審査による返却事由を分析し、重点課題を把握
- ◆ 上記課題に応じた研修の実施
- ◆ 会計事務のチェック項目を重点とした研修の実施
- ◆ 改善されない担当課へ個別指導研修を実施



(2) この施策に関連する指標

① 暮らしやすさ指標

伝票返却率

【設定理由】

担当課から提出される会計伝票の返却率を数値で捉え、この結果をもとに担当課・担当者への指導・助言を行い、会計事務の知識の向上をめざします。目標達成の度合いは、この率の減少により確認できることから、伝票返却率を指標としました。

(3)この施策の4年間のスケジュール

この施策で4年間取り組む主なスケジュールは以下のとおりです。

